

PPROMOTE

取扱説明書

保証書は裏表紙

パワフル除湿器

PJS-53





このたびは弊社「パワフル除湿機 PJS-53」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

本機を正しく安全にお使いいただくために、つぎの事柄を必ずお守り下さい。
絵表示について

この取扱説明書および製品への表示には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やご使用になられる方々への危害や財産への損害を未然に防止するための、いろいろな絵表示をしてあります。内容をよく理解されてから本文をお読み下さい。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

本体	
 記号は注意内容	 高温注意
 記号は禁止内容	 発火注意
 記号は指示内容	 破裂注意
取扱説明書	
 一般的な禁止	 分解禁止
 一般的な指示	 接触禁止
 電源プラグを抜く	 巻き込まれ注意

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

電源プラグの抜き差しによる運転や停止をしない。

感電やショートの原因になります。

製品の上に乗ったり物を載せたりしない。

転倒・落下によるケガ、こぼれた水による漏電などの原因になります。

可燃性のスプレーを近くで使用しない。

また、近くに可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで発火の原因になります。

水のかかるところでの使用禁止。

電源プラグは定期的を確認する。

ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災などの原因になります。

ブレード付タップの取り付けが必要です。

ブレード付タップが取り付けられていないと製品の破損や、発火の原因になります。

漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

漏電しゃ断器の作動を定期的を確認する。

譲渡されるときなどは取扱説明書を添付のこと。

空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れない。

内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。

電源プラグの差し込みは確実に。

使用時以外は電源プラグを抜く、電源プラグを抜くときは、プラグの先端を持って抜く。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や火災の原因になります。

日常点検、手入れ時にも必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。

長期間使わないときは、コンセントから電源プラグを抜く。

ホコリが溜まって発熱・発火の原因になります。

ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。

使用上の注意（警告）

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されるもの。



接触禁止

濡れた手でスイッチ操作などをしない。フィンに直接手を触れないでください。

また、電源プラグなどの電気部品には触れないでください。感電の原因になります。



分解禁止

改造はしない。改造された場合は、保証対象外となります。

専門業者以外の人は絶対に分解、修理をしない。

分解、修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災などの原因になります。



フィルター扉を開けたまま運転しない。

機械内部に触れるとケガ・感電の原因になります。

製品や機械室に直接水をかけない。

また、水を使って洗わないでください。感電や火災などの原因になります。

電源コードを破損したり加工しない。

重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、はさみ込んだりすると電源コードが破損し、感電や火災などの原因になります。



異常時は運転を停止し、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。

異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。

漏電しゃ断器が作動したときは、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。

無理に電源の復帰をすると、感電・火災などの原因になります。

移設は専門業者にご相談ください。

据え付けに不備があると、水などの漏れ、感電・火災などの原因になります。

電源は専用コンセントを使用する。

電源は専用コンセントを使用してください。電源コードの途中接続、タコ足配線などは、感電・火災などの原因になります。

清掃・整備・点検のときは、元電源をしゃ断する。感電やケガ、火傷などの原因になります。



アースを必ず接地すること

アース付コンセントを使用してください。

アース端子が無い場合はアース接地工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針などに接続しないでください。アース接地工事が不完全ですと、感電の原因になります。

（電気工事者によるD種接地工事が必要です。）



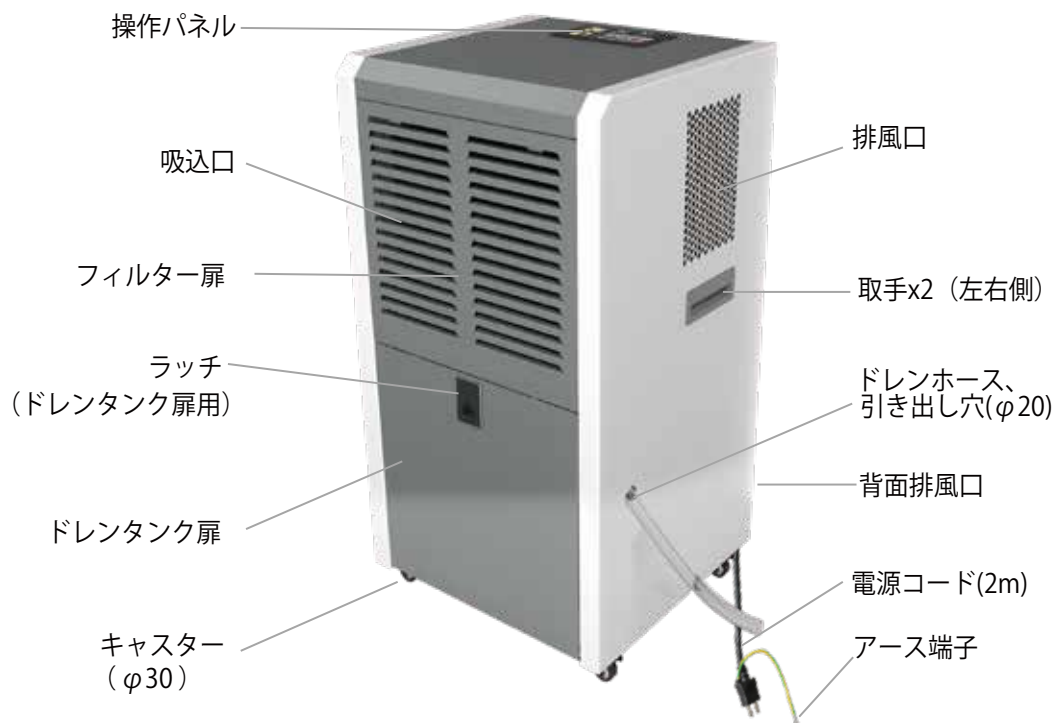
電源は専用コンセントを使用してください。また、電源コードは途中で接続したり、

タコ足配線をしないでください。感電や発熱・火災の原因になります。

異常時は運転を止めてから元電源をしゃ断し、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。

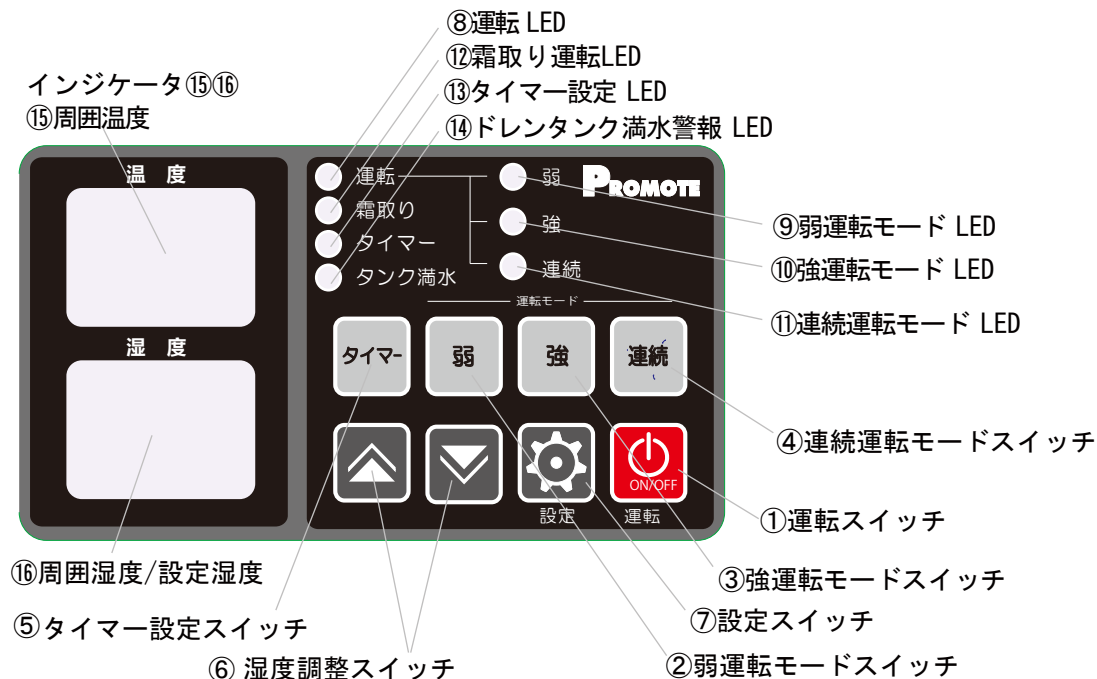
異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。

各部名称



■ドレンタンク扉・フィルター扉を外した状態





スイッチ名称	機能及び表示内容
①運転スイッチ	運転をON/OFFする
②弱運転モードスイッチ	弱運転モードに切り替わる
③強運転モードスイッチ	強運転モードに切り替わる
④連続運転モードスイッチ ※	連続運転モードに切り替わる
⑤タイマー設定スイッチ	タイマー運転/停止時間を設定する (1~24 時間)
⑥湿度調整スイッチ	湿度設定値の変更、パラメータ設定値の変更等
⑦設定スイッチ	パラメータ表示補正を設定する (P11ご参照)

※連続モードで 24 時間運転すると、自動で 30 分間停止し、再び運転を開始します。

インジケータ、LED 表示内容及び機能

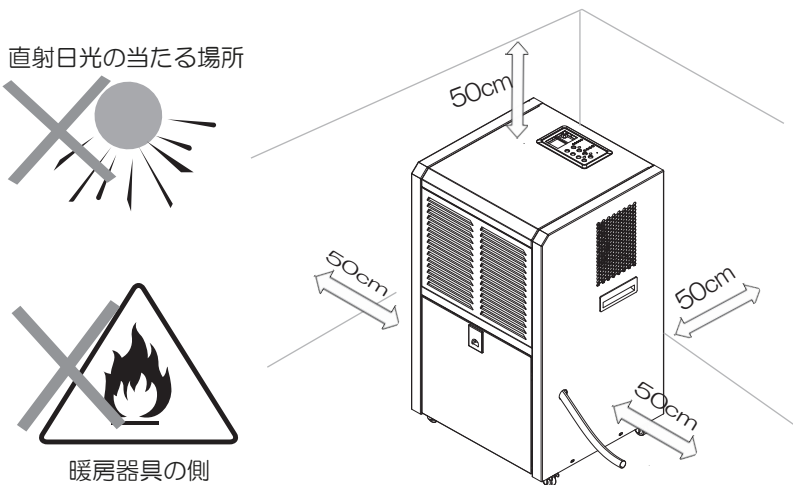
名称	LED	表示色	表示内容及び機能
⑧ 運転 LED	点灯	緑	運転中
⑨ 弱運転モード LED	点灯	緑	弱運転モード中
⑩ 強運転モード LED	点灯	緑	強運転モード中
⑪ 連続運転モード LED	点灯	緑	連続運転モード中
⑫ 霜取り運転 LED	点灯	緑	霜取り (デフロスト) 運転中
⑬ タイマー設定 LED	点灯	緑	タイマー設定中
⑭ ドレンタンク満水警報 LED	点灯	赤	ドレンタンク満水警報中 (自動的に停止)
⑮ 周囲温度 インジケータ (上)	点灯	緑	周囲温度を表示する
⑯ 周囲湿度/設定湿度 インジケータ (下)	点灯	緑	周囲湿度を表示する 湿度調整スイッチを押すと、設定湿度を表示する

本体の設置

⚠ 注意

吸込口、排風口の前面に障害物を置かないでください。
硫酸等激しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所に設置しないでください。
ガス漏れや、性能を低下させる恐れがあります。

- 本機は、できるだけ室内の中央に設置してください。
部屋全体に本機の乾燥空気がいきわたる様に設置してください。
- 周囲温度は、5℃～38℃の間で使用してください。5℃未満で使用しますと故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の側には設置しないでください。除湿能力が低下します。
- 本機の重さに十分耐えることのできる平らで丈夫な床の上で水平になるように設置してください。
(キャスターはストッパー付ではありませんので、回り止めを設置してください)
- 可燃性のガスが漏れる恐れのある場所には設置しないでください。
製品の周囲にガスが溜まると発火の原因となり危険です。
- 下記のような場所には設置しないでください。故障、破損、事故の原因となります。
海の近くや、塩分の多い場所。
アルカリ性成分または酸性成分の多い場所
ホコリ、粉塵等が多く出る場所。
薬品等の飛散が多い場所、腐食性成分の発生する可能性のある場所。



電源接続

- 電源は、直接コンセントよりお取りください。
- 定格 100V15A 以上のコンセントを単独で使用してください。
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し 発火することがあります。
- 電源コードに付属のアース端子で必ずアースを接地してください。
- 労働安全衛生規則第 333 条 第 334 条および電気設備の技術基準により、漏電ブレーカーの取り付けアースの接地が義務づけられています。
「漏電ブレーカーは 15A 30mA 動作時間 0.1sec 以内の物をご使用ください。」

運転

運転/停止


運転

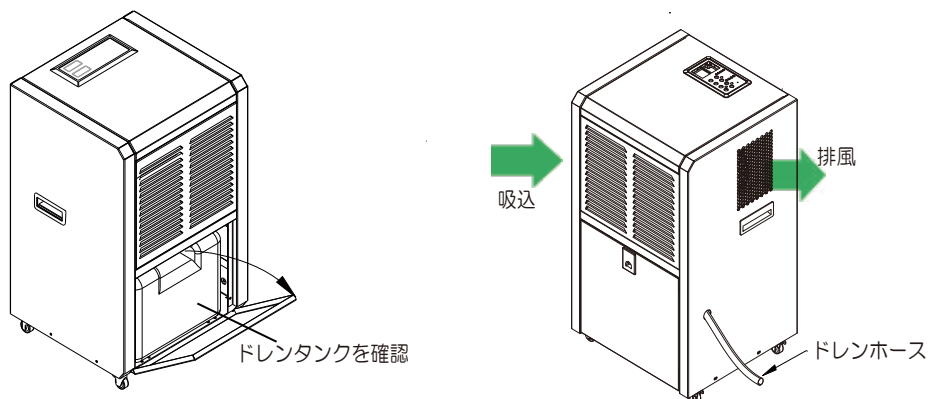
運転前の重要確認：

【タンク確認】 運転の際はドレンタンク扉を開け、ドレンタンクが所定の位置にあることを確認してください。

【電源確認】 運転の際は、交流100V 15A以上のコンセントを単独でご使用してください。

電源コードに付属のアースクリップで必ずアースを接地してください。

1. 電源プラグをコンセントに接続する。
2. ドレンタンクがキャビネット内に確実に納まっていることを確認し、ドレンタンク扉を閉める。
3. 運転スイッチ  を押す。（運転LED点灯後、排風口より風が吹き出し、運転を開始します。）



※ドレンタンク所定の位置にない場合は、満水停止装置が働かず、床を濡らす原因になります。

4. 周囲湿度が設定湿度より低くなると、自動で除湿運転から送風運転に切り替わります。また、周囲湿度が設定湿度+3%以上になると、再び除湿運転を開始します。設定湿度の変更は、P8ご参照してください。
5. 連続で24時間運転すると、自動で30分間停止し、再び運転を開始します。
6. 周囲温度が約18℃以下になると、蒸発器を除霜するた霜取り運転LEDが点灯し、霜取り運転に切り替わります。このとき圧縮機が停止し、送風運転になります。

※霜取り温度の設定値は変更できません。

- 運転スイッチの頻繁なON/OFFは故障につながります。一度運転を停止後、再び運転をする場合は、必ず3分以上経過してから運転してください。無理に3分未満で再運転すると、安全装置（過負荷リレー）が作動したり圧縮機の故障の原因になります。

停止

1. 運転中に停止スイッチを押す（圧縮機停止後、排風口からの風が止まり、運転を停止します。）
2. 長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

- 電源コードを抜く際には、排風口からの風が止まっていることを確認してください。排風口から風が出ている状態で電源コードを抜くと、故障の原因になります。

スイッチの操作方法



■湿度設定値の変更



1. 湿度調整スイッチを押すと、設定湿度 **インジケータ** の LED で設定値を変更できます。
設定範囲：10～90%（出荷時設定値：30%）
2. 湿度調整スイッチを押してから 6 秒間操作をしないと、周囲湿度表示に戻ります。

■弱運転モード

弱

1. 弱運転モードスイッチを押すと、湿度設定値に関わらず、湿度 60%の制御運転をします。
2. 周囲湿度が 60%未満になると、自動で除湿運転から送風運転に切り替わります。
3. 周囲湿度が 63%以上になると、自動で除湿運転を再開します。
4. 弱運転モード中に湿度調整スイッチを押すと、通常の除湿運転モードへ移行します。
5. 湿度調整スイッチを押すと、弱運転モードを解除できます。

■強運転モード

強

1. 強運転モードスイッチを押すと、湿度設定値に関わらず、湿度 50%の制御運転をします。
2. 周囲湿度が 50%未満になると、自動で除湿運転から送風運転に切り替わります。
3. 周囲湿度が 53%以上になると、自動で除湿運転を再開します。
4. 強運転モード中に湿度調整スイッチを押すと、通常の除湿運転モードへ移行します。
5. 湿度調整スイッチを押すと、強運転モードを解除できます。

■連続運転モード

連続

1. 連続運転モードスイッチを押すと、周囲湿度に関わらず、常時除湿運転をします。
2. 連続運転モード中に湿度調整スイッチを押すと、通常の除湿運転モードへ移行します。
3. 湿度調整スイッチを押すと、連続運転モードを解除できます。

■タイマー設定

タイマ-

・タイマーで運転開始

運転スイッチ OFF 時にタイマー設定スイッチを押すと、設定した時間後に運転を開始します。

・タイマーで運転停止

運転スイッチ ON 時にタイマー設定スイッチを押すと、設定した時間後に運転を停止します。

1. タイマー設定スイッチを押すと、周囲温度 **インジケータ** LED で設定値を変更できます。
2. タイマー設定スイッチを押してから 6 秒間操作をしないと、周囲温度表示に戻ります。
3. タイマー設定範囲：1～24 時間（出荷時設定値：0 時間）



周囲湿度（**HP**）、温度（**CP**）の表示基準値をパラメータ補正設定。（P11 ご参照）

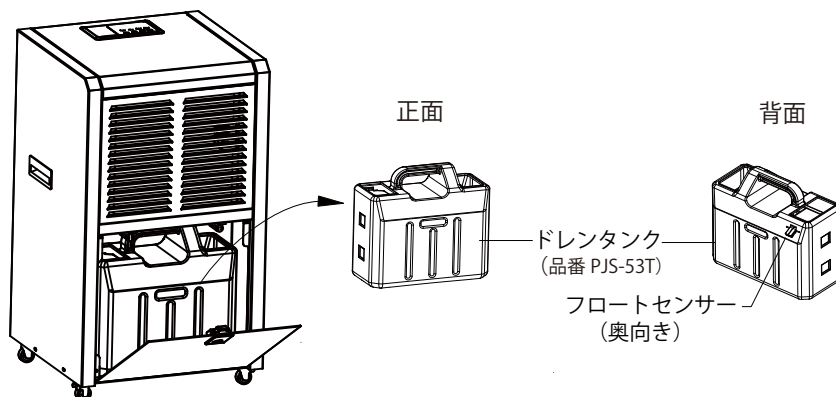
ドレンタンクを使用する

ドレンタンクに一定量の水が溜まると自動的に運転を停止し、運転 LED が消え、ドレンタンク満水警報 LED と E4 が点灯します。水を捨てる時は、必ず運転スイッチを押して運転を停止してからドレンタンクを取り出し、排水してください。排水後は、必ずドレンタンクを元の位置に戻してください。

※ドレンタンク満水になると自動的に運転を停止し、E4 エラーサインが出ます。水を捨ててください。

※ドレンタンクには向きがあります。フロートセンサーがある方を奥にしてください。

正しくセットしないと運転できません。



ポイント

- ドレンタンクをセットするときは、必ず排水し、元の位置に戻してください。ドレンタンクが正規の位置に戻されていないと、運転できません。
- ドレンタンクには、熱湯や有機系溶剤、ガソリン等は絶対に入れないでください。変形、ワレ等による水もれや、満水停止作動不良の原因になります。

直接排水する場合

直接排水する場合は、付属のドレンホースをドレンパイプに接続して排水口等に導いてください。

直接排水の方法は、下記「ドレン排水工事」を参照してください。

※直接排水する場合でも、ドレンタンクが満水、または正規の位置にセットしないと運転できません。

ドレン排水工事

- 1.ドレンタンク扉を開けて、ドレンタンクを取り出します。
- 2.付属品のドレンホースを取り出します。



- 3.ドレン排出口にドレンホースを接続し、プラスドライバーを使用してホースバンドで確実に締めます。
- 4.排水ホースを本機右側の引き出し穴から外部へ出し、排水溝等へ配管してください。このとき、途中に余裕を持たせ、曲がりなどによるつぶれや、立ち上がりがないように注意してください。
- 5.配管後、水漏れがないことを確認してください。(ドレンホースのつまりに気を付けて下さい)。
- 6.ドレンタンクを元の位置に戻します。(ドレンタンクの向きに注意してください。)
- 7.ドレンタンク扉を閉じます。

点検・清掃

●本体表面の汚れは、中性洗剤を使用してふき取る

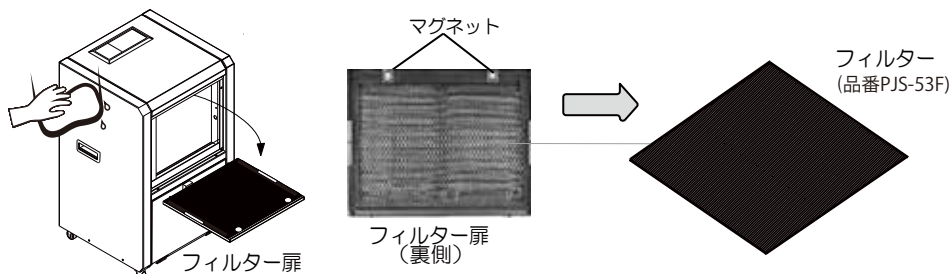
●フィルタ清掃

- (1) フィルター扉を取り外す（マグネットで取り付けられています）。
- (2) フィルター扉（裏側）からフィルターを取り外す。
- (3) フィルターの清掃方法
掃除機でホコリを吸う。汚れがひどい場合は、洗剤を含ませた水で洗い日陰でよく乾かしてから取り付ける。



注意

●本製品はフロン排出抑制法における第一種特定製品であり、3ヶ月に1回以上の簡易点検が必要です。



※運転時には、必ずフィルターを取り付けてください。ゴミなどを吸い込むと、故障の原因になります。

故障・異常原因と対策

状態	原因	処置方法
エラー表示 (上段インジケータ)	E1 温度センサの異常	技術相談窓口へご相談ください。
	E2 湿度センサの異常	技術相談窓口へご相談ください。
	E4 満水停止警報	ドレンタンクの水を捨ててください。
圧縮機とファンモーター ともに動かない	通電しない	停電、ヒューズ、ブレーカーを確認してください。
	プラグまたはコンセントの接触不良	確実に接続するよう差込んでください。
	各スイッチの不良	技術相談窓口へご相談ください。
	満水停止装置の作動	技術相談窓口へご相談ください。
ファンモーター回転しない	ファンモーターの故障	技術相談窓口へご相談ください。
圧縮機運転しない	過負荷リレーの不良	技術相談窓口へご相談ください。
	圧縮機の不良	技術相談窓口へご相談ください。
	冷凍回路の保護	運転開始時は、ファンが運転してから圧縮機が運転します。また、運転停止時は、圧縮機が停止してからファンが停止します。
	霜取りサーモによる霜取中（霜取り運転LED点灯）	運転スイッチONのまま、霜が溶けるのを待ってください。
	圧縮機用過負荷リレーの作動	技術相談窓口へご相談ください。
ブレーカー動作、動かない	15A過電流を検出	過電流原因の他の器具を外してブレーカーをリセット
除湿能力低下	フィルターの汚れ、つまり	フィルターを掃除してください。
	冷媒漏れ	技術相談窓口へご相談ください。
熱交換器が凍結する	霜取りサーモの不良	技術相談窓口へご相談ください。
ドレンタンクが満水になっても停止しない	満水停止フロートセンサーの故障	技術相談窓口へご相談ください。

ポイント

- 本機を再起動は停止後3分以上待ってから行ってください。圧縮機の故障の原因になります。
- 満水停止装置が作動した場合は、運転を停止してからドレンタンクを取り出してください。

製品仕様

品番	PJS-53	
電源	単相100V ± 10%	
周波数	50/60Hz	
定格電流	7.9/8.9A	
消費電力	0.71/0.88KW	
風量	13/15m ³ /min	
除湿能力	45/53L/日	
使用環境	5 ~ 38°C	
圧縮機	550ロータリー式	
冷媒・冷媒量・GWP値	R410A・410g・2090	
凝縮器	フィンアンドチューブ型強制空冷式	
送風機	60W	
冷媒制御装置	キャピラリーチューブ	
霜取装置	デフロスト温度センサー付	
ドレンタンク	約7L フロート式満水停止付	
電源コード	約2m・アース端子付	
保護装置	圧縮機	過負荷リレー
	送風機	ガラス管ヒューズ (250V 3.15A)
外形寸法	(高さ × 奥行 × 幅) 695 × 365 × 396mm	
製品質量	37kg	
付属品 ドレンホース	1 mホースバンド付	

※上記は周囲温度 30°C 相対湿度 80% の条件で運転時の値です。

※製品改良の為、主要機能および形状等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

パラメータ補正設定 (※下記補正設定は通常使用しません)



表示されている周囲湿度 (温度) と実際の周囲湿度 (温度) に差がある場合に使用します。設定範囲: 0 ~ 20

1. 設定スイッチを長押しする。

2. インジケータ⑩に各設定パラメータが表示されるので、湿度調整スイッチで変更したい項目を表示させてください。

周囲湿度 (HP)、温度 (CP) は 10 を基準値として、補正値を設定します。

例) インジケータに表示されている周囲湿度が 25%、実際の周囲湿度が 29% の場合

設定を 14 (基準値 10 + 4 = 14) にすると、湿度の表示が 29% になります。

例) インジケータに表示されている周囲温度が 30°C、実際の周囲温度が 28°C の場合設定を 8 (基準値 10 - 2 = 8) にすると、周囲温度表示が 28°C になります。

※ **HH、HL** は使用不可のパラメータのため、変更しないでください。

フロン排出抑制法における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）

フロン排出抑制法における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）について

本製品にはフロン（HFC）が使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）として扱われます。2020年4月1日に改正フロン排出抑制法が施行され、機器を廃棄する際の規制が強化されました。機器の適切な管理および廃棄、修理について下記にご注意の上、実施願います。

- 第一種特定製品の管理者には次のことが法律で義務付けられていますので必ず守ってください。
 - ・機器の損傷等を防止するため、適切な場所への設置と設置する環境の維持・保全を行う。
 - ・全ての機器を対象とする3ヶ月に1回以上の簡易点検（異音、異常振動、損傷、腐食、錆び、油にじみ、霜付、温度、能力低下等の有無確認）と、冷媒回路圧縮機定格出力が7.5kW以上の機器については十分な知見を有するものが行う定期点検を実施する。
 - ・フロン類の漏えいやその可能性を見つけた場合、十分な知見を有する者による専門的な点検を実施する。（修理をしないでフロン類を充填することは原則禁止）
 - ・適切な機器管理を行うため、機器の点検・修理、フロン類の充填・回収等の履歴を記録・保存する。（機器廃棄後3年間保存が必要）
 - ・フロン類漏えい量の算定と1000CO₂-t/年以上漏えいの場合は国への報告を行う。
- 機器の廃棄時フロン類回収向上のため、次のことが法律で義務付けられていますので必ず守ってください。
 - ・何人も、製品に封入されているフロン類を、みだりに大気中に放出してはならない。
 - ・機器を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収を行う。
 - ・冷媒が未回収の機器を引き渡してはならない。
 - ・機器廃棄時の書類（フロン回収依頼書、引取証明書）は、廃棄後3年間保存が必要。
- 違反した場合、その内容により1年以下の懲役または50万円以下の罰金に処せられます。
- フロンの番号および封入量は、製品本体の製品銘板に記載してあります。
- フロンの地球温暖化係数（GWP値）は製品本体のプレートに記載してあります。
- 本商品は特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。
- 製品によっては点検に費用が掛かる場合がございますので、ご負担をお願いします。
- フロン類の充填・回収には費用がかかりますのでご負担をお願いします。なお、フロン類の充填・回収は、第一種フロン類充填回収業者（登録業者）にご依頼ください。おわかりにならないときは、販売店にお問い合わせください。
- 他社に売却する場合、記録簿またはその写しを第一種特定製品と合わせて売却の相手方に引き渡してください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、使用者ご負担により、次の手順で処理を委託してください。

- ①「フロン排出抑制法」に準拠し、各都道府県指定のフロン類充填回収業者にフロン回収を委託する。
- ②フロン類破壊・回収処理の証明書交付を受けた上で、「廃棄物処理法」に準拠し、各都道府県指定の産業廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

フロン排出抑制法における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）

フロン排出抑制法により3ヶ月に1回以上の簡易点検を行い、記録を保存することが法律で義務づけられています。この簡易点検表は、機器を破棄後3年間保存することになっておりますので大切に保管してください。

【簡易点検表】 ※このページをコピーしてお使いください。

お客様名					
住所					
設置場所			電話番号		
メーカー名			製造番号		
製品型式			管理番号		
圧縮機	kW	×	台	冷媒種類	R-134a R-410A R-407C R-22 R-12
冷媒封入量			g		

点検日（年月日）				
点検者名				
点 検 項 目				
1. 機器周囲				
周囲温度	℃	℃	℃	℃
機器周囲整理整頓	良・否	良・否	良・否	良・否
清掃（否の場合）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）
点検・修理スペース	有・無	有・無	有・無	有・無
周囲の異常振動	有・無	有・無	有・無	有・無
2. 機器外観				
カバー等の汚れ・錆	良・否	良・否	良・否	良・否
清掃（否の場合）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）
異常振動	有・無	有・無	有・無	有・無
凝縮器フィルタ-(有・無) 汚れ	良・否	良・否	良・否	良・否
清掃（否の場合）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）
凝縮器汚れ	良・否	良・否	良・否	良・否
清掃（否の場合）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）
凝縮器状態 油にしみ	有・無	有・無	有・無	有・無
腐食	有・無	有・無	有・無	有・無
オートドレントラップ作動 注)	良・否	良・否	良・否	良・否
清掃（否の場合）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）	（実施・未実施）
3. 機器内部				
異常音	有・無	有・無	有・無	有・無
蒸発圧力計（緑色範囲内確認） 注)	良・否	良・否	良・否	良・否
特記事項				

注) 除湿運転状態で確認してください。

保証とアフターサービス (必ずお読み下さい)

◆保証書

この商品は保証書付です。

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店からお受け取り頂き内容をよくお読みになった後、大切に保管して下さい。

●保証期間は、お買上げの日から1年間です

◆ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店または当社技術相談窓口へお問い合わせ下さい。

◆修理を依頼されるときは

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

●保証期間が終了しているときは

修理すれば使用出来る場合には、ご希望により有料修理させていただきます。